



晴海台小学校の合言葉 「大好き! 晴海台! ~ ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとに貢献する子ども ~」



学校だより



晴海の丘

地域とともにつくる学校

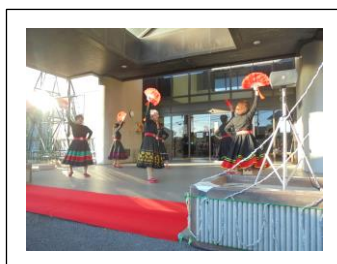
これまでは、「地域とともにある学校」という言葉が良く使われていました。そこから一歩進んで、地域と目標を共にしながら、同じ目線で学校を創ろうとする志から「地域とともにつくる学校」という表現になったのだと思います。

地域コミュニティー連絡協議会主催のイベントが行われました。

11月21日は「ボウリング大会」でした。

学校の保護者・子どもたちが、日ごろふれあうことの少ない地域の方と一緒に、楽しい時間を共有することのすばらしさを感じました。

11月28日には、ふれあいセンターに飾られたイルミネーションの点灯式がありました。コロナ禍で沈みがちな気持ちを明るくしようと、今年からはじまった取組です。(点灯は12月25日までです。)



地域の方のフォークダンスや混声合唱も披露され、その場が明るい雰囲気になりました。

〇しっかり取り組もう 勉強

〇きっちり守ろう きまり

〇もっと使おう ふれ愛ことば

令和3年12月10日号

文責 上久木田雄二



くじびきで選ばれた点灯者がボタンを押すと、ふれあいセンターが一気にメルヘンの世界になりました。

12月5日には、「もち配り」がありました。コロナ禍で、2年連続「もちつき」はありませんでしたが、これからの時代の在り方を先取りする、すばらしい取組でした。

「もち配り」は、長崎市の地コミ担当者も参加し、社会福祉協議会、自治会、おやじの会、PTA等の協力のもと実施されたものです。



目指す街の将来像を「自然と笑顔つながる晴海台」と定め、持続可能な街づくりを力強く推進する晴海台の皆さんの姿に刺激を受けた3週間でした。

12月27日には、宮崎町木場地区岳老人クラブの方の指導で、川原木場運動場において「門松づくり」が予定されています。

地域の皆さんが創り上げた基盤の上に、ふるさと教育を推進することができる晴海台小学校はとても幸せな学校です。

